

和知駅多目的トイレ新築工事

番号	図面名称	縮尺
1	特記仕様書 1	
2	特記仕様書 2	
3	特記仕様書 3	
4	特記仕様書 4	
5	特記仕様書 5	
6	特記仕様書 6	
7	配置図 附近見取図	1/300
8	仕上げ表	
9	既設平面詳細図 計画平面詳細図	1/50
10	既設立面図 計画立面図	1/50
11	建具表 展開図 雑詳細図	1/30 1/50
12	断面詳細図 構造図	1/50
13	機械設備特記仕様書 1	
14	機械設備特記仕様書 2	
15	電気配置図	1/300
16	電気設備図	1/50
17	機械設備図	1/50

4	6 土間断熱材	※ 押出法ポリスチレンフォーム3種bのスキン層付き 厚さ ※25 mm O mm	6	⑥ 構造体強度補正值 (表6.3.2)	※ 気温による構造体強度補正值 (S) (表6.4.1)	7	1 鉄骨の製作工場	○ 監督職員の承諾する工場 ※ 建築基準法第77条の5第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(OS OH OM OR OJ) グレード」として、国土交通大臣から認定を受けた工場もしくは同等以上の能力のある工場	7	13 アンカーボルト (表7.2.4)	適用 ○ 構造用アンカー 材質 ○ SNR4008 ○ () アンカーフレームの形状及び寸法 ○ 図示による () ○ ()
	7 地盤改良	○ 現場発生土を再利用する。 改良方法 ○ ※ セメント及びセメント系固化材を使用した改良土を使用する場合、六価クロム溶出試験を実施し、土壌環境基準を勘案して必要に応じ適切な措置を講ずること。また、再利用しようとする場合は、基準以下であることを確認すること。 ※ 「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(財)日本建築社を参考とすること。		コンクリート工事	7 暑中におけるコンクリートの扱い (表6.12.2)		鉄骨工事	2 施工管理技術者 (表7.1.3)		※ 適用する ○ 適用しない	鉄骨工事

5	① 鉄筋の種類 (表5.2.1)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>径 (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">異形鉄筋</td> <td>※ SD295A</td> <td>D16以下</td> <td rowspan="3">一般建築物の柱・梁の主筋に適用する</td> </tr> <tr> <td>※ SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ SD295AはF_c≥21の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する</p>	種類	種類の記号	径 (mm)	備考	異形鉄筋	※ SD295A	D16以下	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する	※ SD345	D19以上	○		8 寒中コンクリート (表6.9.2) ~ (表6.9.5)	⑧ 寒中コンクリート	※ 予想平均気温が表6.4.1に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第12節(寒中コンクリート)による。	9 融融亜鉛メッキ高力ボルト (表7.1.4)	5 融融亜鉛メッキ高力ボルト	セットの種類 ○ 1類 (F8T相当) 摩擦面の処理 ○ プラスト処理 (表面粗度5.0µmRz以上) ○ リン酸塩処理	15 錆止め塗料 (表7.8.3)	15 錆止め塗料	塗料の種類 ○ 鉄鋼面の錆止め塗料 屋外 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ () 屋内 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ () ○ 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ C種 ○ () 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面 (鉄骨に溶接されたものに限定) ○ 標準仕様書18.3.2表18.3.1 ※ A種 ○ B種 ○ () 耐火被覆材の接着する面への塗装 ○ 行わない ○ 行う			
	種類	種類の記号	径 (mm)	備考																						
	異形鉄筋	※ SD295A	D16以下	一般建築物の柱・梁の主筋に適用する																						
		※ SD345	D19以上																							
		○																								
2 溶接金網	網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm)	⑨ コンクリートの試験 (表6.9.2) ~ (表6.9.5)	⑨ コンクリートの試験	※ フレッシュコンクリートの試験 ※ コンクリートの強度試験 ○ 材料試験	6 ターンバックル (表7.2.6)	鋼の種類 ※ 割粒式 ○ バイブ式 ボルトの種類 ※ 羽子板ボルト ○ 両ねじボルト ○ アイボルト	2 コンクリートブロック帳壁及び珪 (表8.3.1)	2 コンクリートブロック帳壁及び珪	ブロックの種類 (表8.3.1)																	
3 鉄筋の継手 (表5.3.4)	<table border="1"> <tr> <th>部 位</th> <th>接 合 方 法</th> <th>径 (mm)</th> <th>重ね継手の長さ</th> </tr> <tr> <td>※ 柱・梁の主筋</td> <td>※ ガス圧接 ○ 重ね継手</td> <td>D19以上</td> <td>※ 標仕表5.3.2による</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>○ 機械式継手</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ その他</td> <td>○ ガス圧接 ※ 重ね継手</td> <td>D16以下</td> <td>○ 別図表による</td> </tr> </table> <p>○ 機械式継手 種類 ○ () 工法 ○ () 品質確認方法、修正方法等 ○ ()</p> <p>○ 鉄筋継手位置 ※ 構造図による ○ 柱に取付る梁の引張り鉄筋の定着長さ ※ 構造図による</p>	部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ	※ 柱・梁の主筋	※ ガス圧接 ○ 重ね継手	D19以上	※ 標仕表5.3.2による	○	○ 機械式継手			※ その他	○ ガス圧接 ※ 重ね継手	D16以下	○ 別図表による	10 軽量コンクリート (表6.10.1)	⑩ 軽量コンクリート	種別 ○ 1種 ※ 2種 施工箇所	7 工作図 (表7.3.2)	高力ボルト、普通ボルトの「ゲージ、ピッチ、バネ等」 ※ 図示による (図に無い場合は鉄骨設計基準による)	3 ALCPANEL (表8.4.2) ~ (表8.4.5)	3 ALCPANEL	パネルの種類 (表8.4.3) (表8.4.4)	
部 位	接 合 方 法	径 (mm)	重ね継手の長さ																							
※ 柱・梁の主筋	※ ガス圧接 ○ 重ね継手	D19以上	※ 標仕表5.3.2による																							
○	○ 機械式継手																									
※ その他	○ ガス圧接 ※ 重ね継手	D16以下	○ 別図表による																							
4 鉄筋のかぶり厚さ (表5.3.5)	※ かぶり厚さは目地底から算定する。 ※ 耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所等</th> <th>最小かぶり厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所等	最小かぶり厚さ (mm)			⑪ 型枠 (せき板) (表6.8.2) (表6.8.3) (表6.2.4)	⑪ 型枠 (せき板)	合板の規格 ※ コンクリート型枠用合板の日本農林規格による合板 ○ 合板の材種 ※ 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 ○ 厚さ (mm) ※ 12 ○ 打放し仕上げのせき板 (表6.2.3) ※ 合板せき板を用いる場合 <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>板 面 の 品 質</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>○ A種</td> <td>※6.8.3(b) (1) ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>※6.8.3(b) (2) ○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ C種</td> <td>※6.8.3(b) (2) ○</td> <td></td> </tr> </table>	種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所	○ A種	※6.8.3(b) (1) ○		○ B種	※6.8.3(b) (2) ○		○ C種	※6.8.3(b) (2) ○		8 仮組 (表7.3.10)	○ 実施する 部位 () ○ 実施しない	4 押出成形セメント板 (表8.5.2)	4 押出成形セメント板	種類 ※ 無石綿タイプ (タイプII)
施工箇所等	最小かぶり厚さ (mm)																									
種 別	板 面 の 品 質	施 工 箇 所																								
○ A種	※6.8.3(b) (1) ○																									
○ B種	※6.8.3(b) (2) ○																									
○ C種	※6.8.3(b) (2) ○																									
5 圧接完了後の試験 (表5.4.9)	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ○ 引張試験	⑫ スリーブ (表6.8.3)	⑫ スリーブ	スリーブの材質 (表6.9.1)	11 溶接部の試験 (表7.6.11)	11 溶接部の試験	完全溶込溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ○ 行わない ○ 工場溶接の場合 AQL ○ 4.0 ○ 2.5 検査水準 ○ 第6水準 (筋全て) ○ 工場現場溶接の場合 AQL ○ 4.0 ○ 2.5	12 耐火被覆 (表7.9.2) ~ (表7.9.7)	12 耐火被覆	耐火性能 防水性能																

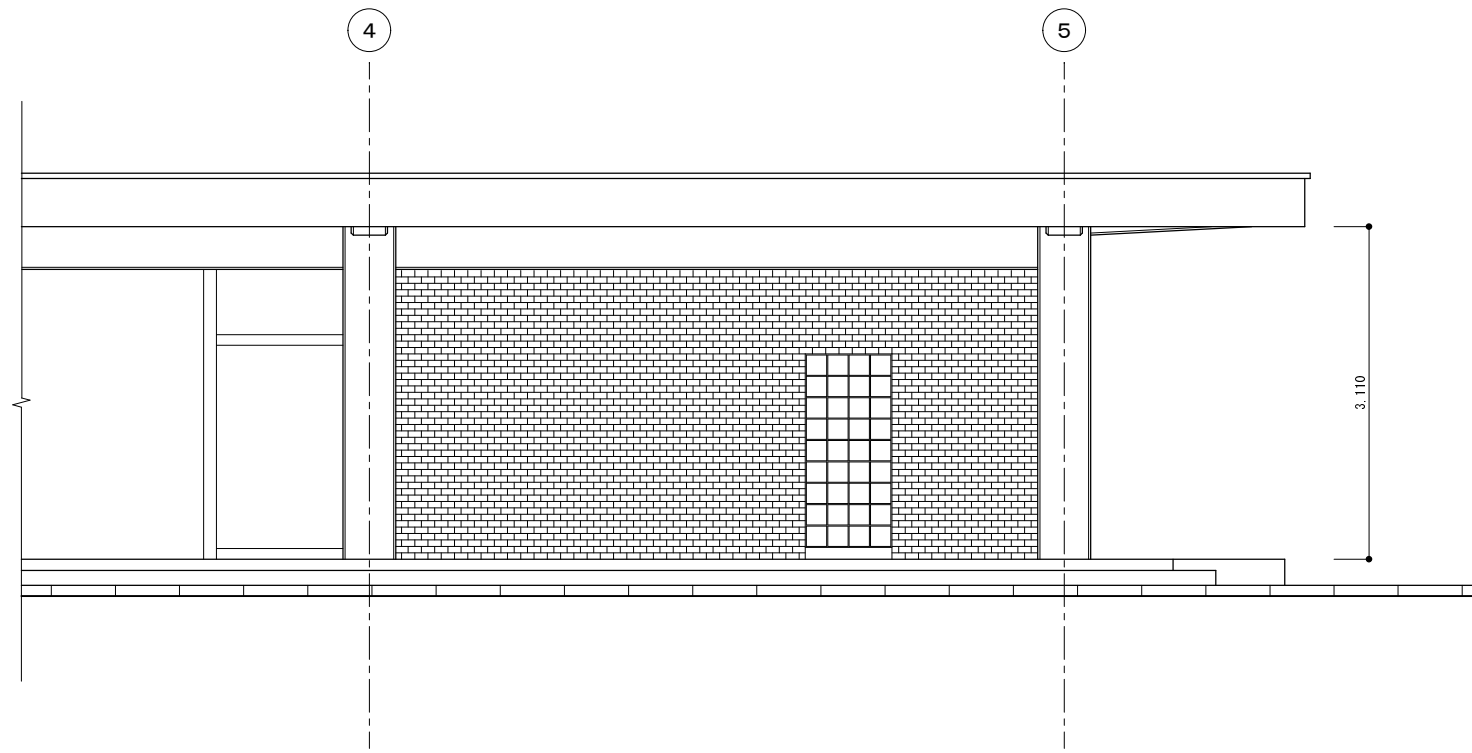
6	① コンクリートの強度 (表6.2.2)	設計基準強度 (F _c)	9 コンクリート工事	⑬ 耐力スリット	耐力スリット	10 図面番号	和知駅多目的トイレ新築工事	10 図面番号	特記仕様書 (2)	縮尺 1/1	図面番号 2		
	② レディー-ミクストコンクリートの類別等 (表6.1.1)	レディー-ミクストコンクリートの類別 ※ I類 ○ II類		13 耐力スリット	耐力スリット							図面番号 15.05.18	図面枚数 17
	③ セメントの類別 (表6.3.1)	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA ○ 高炉セメントのB種		品質・規格									
	④ 骨材 (表6.3.1)	粗骨材 ※ 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 再生骨材H 細骨材 ※ 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) ○ 高炉スラグ ○ 電気炉酸化スラグ ○ 鋼スラグ ○ フロントスラグ ○ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 ※ A (無害) ○		方 向	タ イ プ							耐火性能	防水性能
	⑤ 混和材料 (表6.3.1)	混和剤 ※ AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤のI種 (JIS A6204) 混和材 ※ フライアッシュ (JIS A6201) I種又はII種		水密を要する地中部分等	※ つば付き鋼管 (JIS G3452の黒管に厚さ6mm、つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの)							○ 垂直方向	※ 完全 (全貫通型) スリット ○ 耐火型 ○ 有り

正田建築事務所	校閲	換印	担当	工事名称	和知駅多目的トイレ新築工事	図面名称	特記仕様書 (2)	縮尺	1 / 1	図面番号	2
								年月日	15.05.18	図面枚数	17

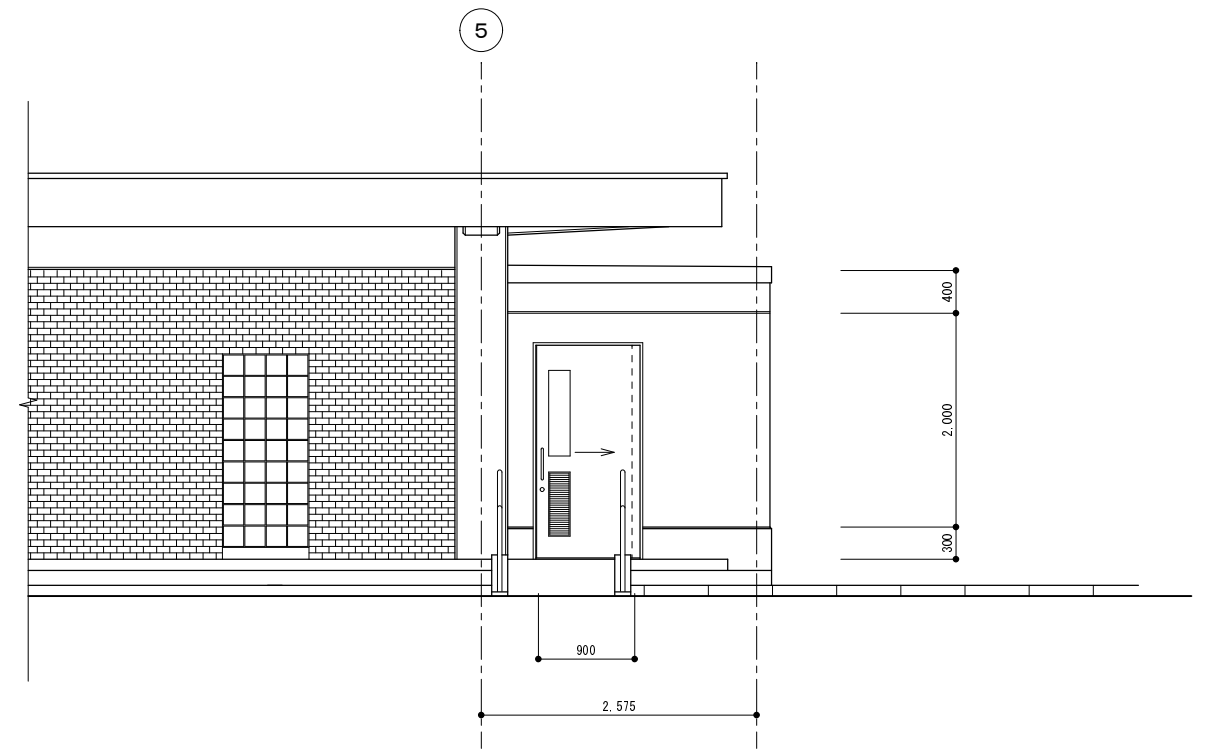
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
9 防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2)(9.2.3)	10 石工事	1 天然石張り (10.2.1)	12 木工事	5 集材材 (12.2.1)	13 屋根及びとい工事	5 とい (雨水) (13.5.2)(13.5.3)
	2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2)		2 テラコ張り (10.2.1)		6 床張り用合板 (12.2.1)		6 保証書
3 合成高分子系ルフィンシート防水 (9.4.2)(9.4.4)	3 合成高分子系ルフィンシート防水 (表9.3.1)(表9.4.1)	11 タイル工事	3 壁の石張り工法 (10.3.3)(10.4.3)(10.5.3)	7 接着剤 (12.2.2)	7 接着剤 (12.2.2)	14 金属工事	1 ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)
4 塗膜防水 (9.5.3)	4 塗膜防水 (表9.5.1)(表9.5.2)		4 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)		8 防鼠、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)~(12.3.2)		8 防鼠、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)~(12.3.2)
5 漏水試験	5 漏水試験 (表9.5.1)(表9.5.2)	12 木工事	③ 陶磁器質タイル張り (11.2.1)	8 防鼠、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)~(12.3.2)	8 防鼠、防蟻及び防虫処理 (12.3.1)~(12.3.2)	9 タラップ及び丸環 (14.8.3)	3 鉄の垂鉛めっき (14.2.3)
6 保証書	6 保証書 (表9.5.1)(表9.5.2)		1 伸縮調整目地等 (11.1.3)		9 性能 (12.3.2)		9 性能 (12.3.2)
7 シーリング (9.7.2)	7 シーリング (表9.7.1)	12 木工事	2 施工後の確認と試験 (11.1.5)	9 折板葺 (13.3.2)	9 折板葺 (13.3.2)	10 天井点検口 (14.8.3)	4 軽量鉄骨天井 (表14.4.1)
8 目地寸法 (9.7.3)	8 目地寸法 (表9.7.1)		2 施工後の確認と試験 (11.1.5)		10 長尺金属板葺 (13.2.2)		10 長尺金属板葺 (13.2.2)
9 シーリングの試験 (9.7.5)	9 シーリングの試験 (表9.7.1)	12 木工事	4 張付け用材料 (11.2.3)	10 長尺金属板葺 (13.2.2)	10 長尺金属板葺 (13.2.2)	11 床点検口 (14.8.3)	5 軽量鉄骨壁下地 (表14.5.1)
10 止水板	10 止水板 (表9.7.1)		4 張付け用材料 (11.2.3)		11 性能 (13.3.2)		11 性能 (13.3.2)
							6 金属成形板張り (表14.2.1)
							6 金属成形板張り (表14.2.1)
							7 アルミニウム製笠木 (表14.7.1)
							7 アルミニウム製笠木 (表14.7.1)
							8 手すり (表14.8.2)
							8 手すり (表14.8.2)
							9 タラップ及び丸環 (表14.8.3)
							9 タラップ及び丸環 (表14.8.3)
							10 天井点検口 (表14.8.3)
							10 天井点検口 (表14.8.3)
							11 床点検口 (表14.8.3)
							11 床点検口 (表14.8.3)
							12 屋上点検口 (表14.8.3)
							12 屋上点検口 (表14.8.3)

Main project specification sheet for 'Ando Building Project'. It is organized into a grid of 5 columns (Chapter, Item, Details, Item, Details, Chapter, Item, Details, Item, Details, Chapter, Item, Details, Item, Details, Chapter, Item, Details, Item, Details). The columns contain detailed technical specifications for various building components such as:
- 15 Exterior Finishes (Left Column): Includes mortar rendering, bedding, and various types of exterior and interior wall coatings.
- 16 Building Materials (Middle Column): Details door and window frames, including materials like aluminum and steel, and their performance characteristics.
- 17 Building Tools (Middle Column): Specifies door and window hardware, such as hinges, locks, and handles.
- 18 Painting (Right Column): Defines the painting system, including the number of coats, materials used, and surface preparation.
- 19 Polycarbonate (Right Column): Details the specification for polycarbonate sheets used in skylights or other applications.
Each section contains a mix of text, tables, and bullet points providing precise technical requirements and standards to be followed.

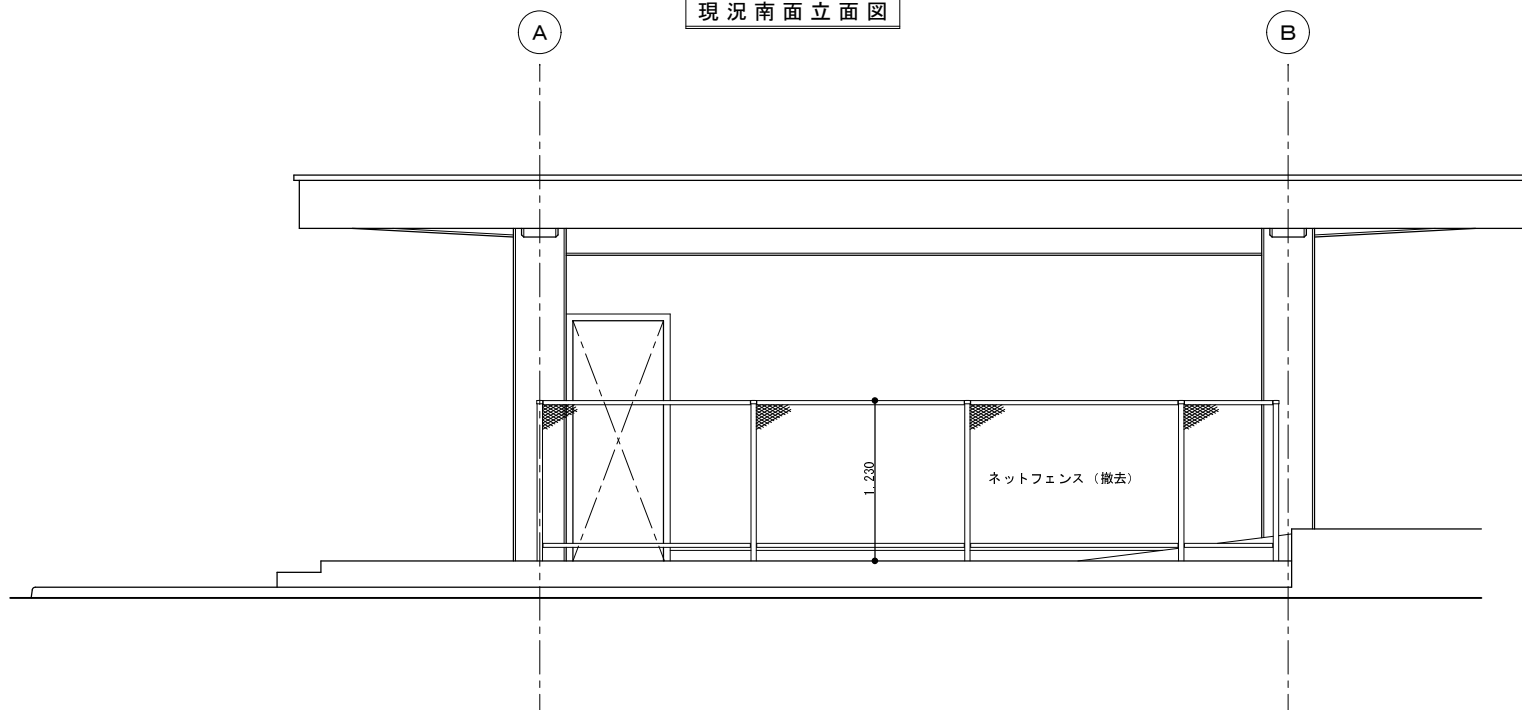
章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																						
20 ユニツト及びその他の工事	<p>21 洗面カウンター 材 種 ○メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材)○人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) ○約450 ○約600 ○</p> <p>22 流し台ユニット 種 類 部品寸法(mm) 規 格 仕 様 ○流し台 ○優良住宅部品 トラップ付き ○コンロ台 ○優良住宅部品 バックガード有り ○吊戸棚 ○優良住宅部品 高さ 約500 mm ○水切り棚 ○優良住宅部品 ステンレス製1段式 ○</p> <p>23 非常用救助袋等 ※垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 ○傾斜式 ○垂直式 品質・規格 _____</p> <p>24 鍵箱 市販品 形式 ※釣下式 ○差込式 (○30 ○60 ○120 ○) 組用 () 個</p> <p>25 定礎 定礎石 ○御影石 文字掘込 寸法 450×600×30 ○ 定礎銘板 ○銅板製 両面文字掘込 寸法B4版 厚さ5mm ○ 定礎箱 ○銅板製 寸法 400×300×60 ○</p> <p>26 旗竿受金物 材種 ※ステンレス鋼(SUS304) (市販品 ※1箇所 ○箇所) 品質・規格 _____</p> <p>27 旗ポール 材 質 形 式 地上高さ(m) 操作 方法 固定 方法 ※アルミニウム合金 ※テーパー型 ○6 ○10 ○ハンドル式 ○埋込式 ○ ○同一断面型 ○8 ○ ○ロープ式 ○ベース式 品質・規格 _____</p> <p>28 煙突ライニング (20.2.11) 煙突用成形ライニング材及びキャスタブル耐火材 最高温度 ※400℃ ○650℃ 品質・規格 _____</p> <p>29 間知石及びコンクリート間知ブロック (20.4.2) (20.4.3) 間知石の材種 ※花こう岩 ○ コンクリート間知ブロック 面の形状 ○長方形 ○正方形 ○六角形 ○H型 質量区分 ○ブロックA ○ブロックB 地業の材料 ※再生クラッシュラン ○ 積みの工法 ○谷積み ○布積み (目塗り ○行う) 伸縮目地材の材種、厚さ</p> <p>30 敷地境界石標 種別 ○花こう石類(文字記号入り) ※コンクリートブロック製(市販品)</p> <p>31 車止め 形 式 材 質 柱径・肉厚(mm) 高さ(mm) ※上下式鎖内蔵型 ※ステンレス製(SUS304) ※φ76.3 t=2.0 ※6L+700 (○スリッパ付き) ○ ○φ114.3 t=2.5 ○6L+850 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度</p> <p>32 フェンス 表 面 仕 上 等 種 類 門扉の仕様 ※亜鉛めっき ○樹脂塗装 ○メッシュ ○エキストラフェンス ○片開き ○ビニル被覆 ○ ○ネット ○ 両開き</p> <p>③室名札 アルミニウムSUS貼り 254×250×11.5 アヘアライン仕上げ 文字(みんなのトイレ)</p>	<p>21 排水管 (21.2.1) (21.2.3)</p> <p>2 側溝、排水樹及ふた (21.2.2)</p> <p>3 コンクリート側溝 (22.9.2)</p> <p>1 路床 (22.2.3) (22.2.5)</p> <p>2 路盤 (22.3.3) (22.3.5)</p> <p>3 アスファルト舗装 (22.4.2) ~(22.4.6)</p> <p>④コンクリート舗装 (22.5.2) ~(22.5.6)</p> <p>5 カラー塗装 (22.6.3) ~(22.6.6)</p>	<table border="1"> <tr> <th>材 種 (表21.2.1)</th> <th>管 の 種 類</th> <th>接合方法</th> </tr> <tr> <td>○ 透心鉄筋コンクリート管</td> <td>※ 外圧管(※1種 ○2種)</td> <td>○ モトル ○ ゴム輪</td> </tr> <tr> <td>● 硬質塩化ビニル管</td> <td>※ VP ○ VU</td> <td>● 接着 ○ ゴム輪</td> </tr> <tr> <td>○ 硬質塩化ビニル管継手</td> <td>※ DV ○ VU継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>○側溝の形状および寸法 ※図示 ○() ○排水樹の種類 ※図示 ○()</p> <p>○鋼鉄製マンホールふたの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>適 用 荷 重 (安全荷重)</th> </tr> <tr> <td>○ 水封形 ○ 密閉形(テーパーバネ式)</td> <td>○ T-2用(8KN) ○ T-6用(115KN)</td> </tr> <tr> <td>○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(バネ式)</td> <td>○ T-20用(50KN)</td> </tr> </table> <p>○グレーチングふた</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>適用荷重</th> <th>タイプ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>○ 溝ふた用</td> <td>○ 鋼製</td> <td>受持 ※なし</td> <td>○ 歩行用</td> <td>○ 普通目</td> <td>○ 平形</td> </tr> <tr> <td>○ 餅ふた用</td> <td>○ ステンレス製</td> <td>○ あり</td> <td>○ T-2用</td> <td>※ 細目</td> <td>○ 凹凸形</td> </tr> <tr> <td>○ 嵩上げ用</td> <td>○ 鋳鉄製</td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-6用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ U字溝用</td> <td>○ 樹脂製</td> <td>ボルト固定 ※なし</td> <td>○ T-14用</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○ 図示</td> <td>○ T-20用</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 ○250A ※250B ○ コンクリートL形のJISによる呼び名 ○250A ※250B ○ 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 ○240 ○300A ○360A ○ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²) ○1.8 ○ 地業の材料 標仕4.6.2(a) ○C-40 ※RC-40</p> <p>塵土に用いる材料 ○A種 ※B種 ○C種 ○D種 (表3.2.1) 路床安定処理用材料 ※添加材料による安定処理 (表22.2.2) 種 類 ○地盤改良材 () ○高炉セメントB種 ○普通ポルトランドセメント ○生石灰 特号 ○生石灰 1号 ○フライアッシュセメントB種 ○消石灰 特号 ○消石灰 1号 添加量 (kg/m³) 路床土の支持力比(CBR)試験 ○行う (※乱した土 ○乱さない土) 路床締固め度の試験 ○行う ○行わない 砂の粒度試験 ○行う ○行わない</p> <p>材料 ※再生クラッシュラン(RC-40) ○クラッシュラン(C-40) ○クワッシュ鉄鋼(※)(CS-40) 路盤締固め度の試験 ○行う</p> <table border="1"> <tr> <th>舗 装 の 種 類</th> <th>車道部基層</th> <th>カラー舗装の種類</th> </tr> <tr> <td>※アスファルト舗装</td> <td>※</td> <td>※ 顔料混入加熱アスファルト混合物</td> </tr> <tr> <td colspan="3">アスファルト ※再生アスファルト ○ストレートアスファルト</td> </tr> </table> <p>再生加熱アスファルト混合物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>※一般地域</th> <th>○寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※ 密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>○ 細粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td>基層</td> <td colspan="2">※ 粗粒度アスファルト混合物(20)</td> </tr> </table> <p>シーコート ※行わない ○行う (施工範囲) アスファルト混合物の抽出試験 ○行う ※行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 ※行う ○行わない</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>配合その他</th> </tr> <tr> <td>※ 加熱系アスファルト混合物</td> <td>○ 車道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>添加剤 ○着色骨材 ○自然石</td> <td>○ 歩道部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>結合材 ○アスファルト ○石油樹脂(添加量)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アスファルト混合物等の抽出試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○適用する ※適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車道部の基層</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○適用する ※適用しない</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 常温系樹脂系混合物</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 常温系ニート工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 常温系塗布工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	接合方法	○ 透心鉄筋コンクリート管	※ 外圧管(※1種 ○2種)	○ モトル ○ ゴム輪	● 硬質塩化ビニル管	※ VP ○ VU	● 接着 ○ ゴム輪	○ 硬質塩化ビニル管継手	※ DV ○ VU継手		種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)	○ 水封形 ○ 密閉形(テーパーバネ式)	○ T-2用(8KN) ○ T-6用(115KN)	○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(バネ式)	○ T-20用(50KN)	種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状	○ 溝ふた用	○ 鋼製	受持 ※なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形	○ 餅ふた用	○ ステンレス製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形	○ 嵩上げ用	○ 鋳鉄製	○ 図示	○ T-6用			○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※なし	○ T-14用					○ 図示	○ T-20用			舗 装 の 種 類	車道部基層	カラー舗装の種類	※アスファルト舗装	※	※ 顔料混入加熱アスファルト混合物	アスファルト ※再生アスファルト ○ストレートアスファルト			区分	※一般地域	○寒冷地域	表層	※ 密粒度アスファルト混合物(13)	※ 密粒度アスファルト混合物(13F)		○ 細粒度アスファルト混合物(13)	○ 細粒度アスファルト混合物(13F)	基層	※ 粗粒度アスファルト混合物(20)		種 類	部 位	配合その他	※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車道部		添加剤 ○着色骨材 ○自然石	○ 歩道部		結合材 ○アスファルト ○石油樹脂(添加量)			アスファルト混合物等の抽出試験			○適用する ※適用しない			車道部の基層			○適用する ※適用しない			○ 常温系樹脂系混合物			○ 常温系ニート工法			○ 常温系塗布工法			<p>22 舗装工事</p> <p>6 透水性舗装 (22.7.3) ~(22.7.6)</p> <p>7 排水性舗装 (22.8.3) ~(22.8.6)</p> <p>8 ブロック系舗装 (22.9.3)</p> <p>9 緑石 (21.4.2)</p> <p>10 砂利敷き (22.10.2) (22.10.3)</p> <p>11 白線引き</p> <p>23 植栽及び屋上緑化工事</p> <p>1 植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3)</p> <p>2 樹木の種類等 (23.3.2)</p> <p>3 支柱材、幹巻き用材料 (23.3.2)</p> <p>4 芝 (23.4.2) (23.4.3) (23.2.3)</p> <p>5 新植、移植樹木、芝等の枯補償 (23.3.4~.6)</p>	<p>6 屋上緑化 (23.5.3)</p> <p>○屋上緑化方法 排水層 ※軽量骨材 厚さ() ○板状成形品 土壌層 ※改良土 厚さ() ○人工軽量土 厚さ() ○屋上緑化軽量システム 見切材 ○() 舗装材 ○() 水抜き管 ○() マチング材 ○()</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 ※図示による ○下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 ※ 図示による ○ ころらひ芝(※目地張り ○) ○ 野芝 (※目地張り ○) ○ セダム類 (○カット ○ふるい ○プラグ苗 ○) かん水装置 ○設置する() ○設置しない 支柱材 (23.3.2)による</p> <p>※行う</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工 法</th> <th>整 備 範 囲</th> </tr> <tr> <td>12m以上</td> <td>※100 ○120 ○150</td> <td>※A種</td> <td>※植込み部分</td> </tr> <tr> <td>7~12m未満</td> <td>※80 ○100</td> <td>○B種</td> <td>○葉張りの範囲</td> </tr> <tr> <td>3~7m未満</td> <td>※60 ○80</td> <td>○C種</td> <td>(樹高7m以上)</td> </tr> <tr> <td>3m未満</td> <td>※50 ○60</td> <td>○D種</td> <td>○図示</td> </tr> <tr> <td>芝、地被類</td> <td>※20</td> <td>※B種 ○</td> <td>※植栽範囲 ○</td> </tr> </table> <p>※工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 土壌改良材 ※行う (※パーク堆肥 ○下水汚泥カス)) 施工箇所 ※植込み部分 ○図示 植込み用土 ※現場発生土の良質土 ○客土 (※畑土 ○黒土)</p> <p>樹木の種類、寸法、数量等 ※図示による ○下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>支柱材 ※杉(焼き丸太) ○竹 ○ひのき ○から松(皮はぎ) 形式 ※図示 ○ 防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太 ○ 幹巻き用テープ ※幹巻き用テープ ○わら及びこも</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>芝 張 り の 工 法</th> <th>客 土</th> </tr> <tr> <td></td> <td>平地 切土法面 盛土法面</td> <td>※行わない</td> </tr> <tr> <td>○ころらひ芝</td> <td>※目地張り ※べた張り ※筋芝張り</td> <td>○行う ※畑土</td> </tr> <tr> <td>○野芝</td> <td>○ ○ ○</td> <td>○黒土</td> </tr> </table> <p>※引渡しの日から1年 ○引渡しの日から 年 (23.3.4~.6)</p>	種 類	寸 法	数 量	備 考									樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲	12m以上	※100 ○120 ○150	※A種	※植込み部分	7~12m未満	※80 ○100	○B種	○葉張りの範囲	3~7m未満	※60 ○80	○C種	(樹高7m以上)	3m未満	※50 ○60	○D種	○図示	芝、地被類	※20	※B種 ○	※植栽範囲 ○	種 類	寸 法	数 量	備 考									種 別	芝 張 り の 工 法	客 土		平地 切土法面 盛土法面	※行わない	○ころらひ芝	※目地張り ※べた張り ※筋芝張り	○行う ※畑土	○野芝	○ ○ ○	○黒土
材 種 (表21.2.1)	管 の 種 類	接合方法																																																																																																																																																																											
○ 透心鉄筋コンクリート管	※ 外圧管(※1種 ○2種)	○ モトル ○ ゴム輪																																																																																																																																																																											
● 硬質塩化ビニル管	※ VP ○ VU	● 接着 ○ ゴム輪																																																																																																																																																																											
○ 硬質塩化ビニル管継手	※ DV ○ VU継手																																																																																																																																																																												
種 類	適 用 荷 重 (安全荷重)																																																																																																																																																																												
○ 水封形 ○ 密閉形(テーパーバネ式)	○ T-2用(8KN) ○ T-6用(115KN)																																																																																																																																																																												
○ 中蓋付密閉形 ○ 簡易密閉形(バネ式)	○ T-20用(50KN)																																																																																																																																																																												
種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状																																																																																																																																																																								
○ 溝ふた用	○ 鋼製	受持 ※なし	○ 歩行用	○ 普通目	○ 平形																																																																																																																																																																								
○ 餅ふた用	○ ステンレス製	○ あり	○ T-2用	※ 細目	○ 凹凸形																																																																																																																																																																								
○ 嵩上げ用	○ 鋳鉄製	○ 図示	○ T-6用																																																																																																																																																																										
○ U字溝用	○ 樹脂製	ボルト固定 ※なし	○ T-14用																																																																																																																																																																										
		○ 図示	○ T-20用																																																																																																																																																																										
舗 装 の 種 類	車道部基層	カラー舗装の種類																																																																																																																																																																											
※アスファルト舗装	※	※ 顔料混入加熱アスファルト混合物																																																																																																																																																																											
アスファルト ※再生アスファルト ○ストレートアスファルト																																																																																																																																																																													
区分	※一般地域	○寒冷地域																																																																																																																																																																											
表層	※ 密粒度アスファルト混合物(13)	※ 密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																																											
	○ 細粒度アスファルト混合物(13)	○ 細粒度アスファルト混合物(13F)																																																																																																																																																																											
基層	※ 粗粒度アスファルト混合物(20)																																																																																																																																																																												
種 類	部 位	配合その他																																																																																																																																																																											
※ 加熱系アスファルト混合物	○ 車道部																																																																																																																																																																												
添加剤 ○着色骨材 ○自然石	○ 歩道部																																																																																																																																																																												
結合材 ○アスファルト ○石油樹脂(添加量)																																																																																																																																																																													
アスファルト混合物等の抽出試験																																																																																																																																																																													
○適用する ※適用しない																																																																																																																																																																													
車道部の基層																																																																																																																																																																													
○適用する ※適用しない																																																																																																																																																																													
○ 常温系樹脂系混合物																																																																																																																																																																													
○ 常温系ニート工法																																																																																																																																																																													
○ 常温系塗布工法																																																																																																																																																																													
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																										
樹木の樹高	有効土層の厚さ(cm)	工 法	整 備 範 囲																																																																																																																																																																										
12m以上	※100 ○120 ○150	※A種	※植込み部分																																																																																																																																																																										
7~12m未満	※80 ○100	○B種	○葉張りの範囲																																																																																																																																																																										
3~7m未満	※60 ○80	○C種	(樹高7m以上)																																																																																																																																																																										
3m未満	※50 ○60	○D種	○図示																																																																																																																																																																										
芝、地被類	※20	※B種 ○	※植栽範囲 ○																																																																																																																																																																										
種 類	寸 法	数 量	備 考																																																																																																																																																																										
種 別	芝 張 り の 工 法	客 土																																																																																																																																																																											
	平地 切土法面 盛土法面	※行わない																																																																																																																																																																											
○ころらひ芝	※目地張り ※べた張り ※筋芝張り	○行う ※畑土																																																																																																																																																																											
○野芝	○ ○ ○	○黒土																																																																																																																																																																											



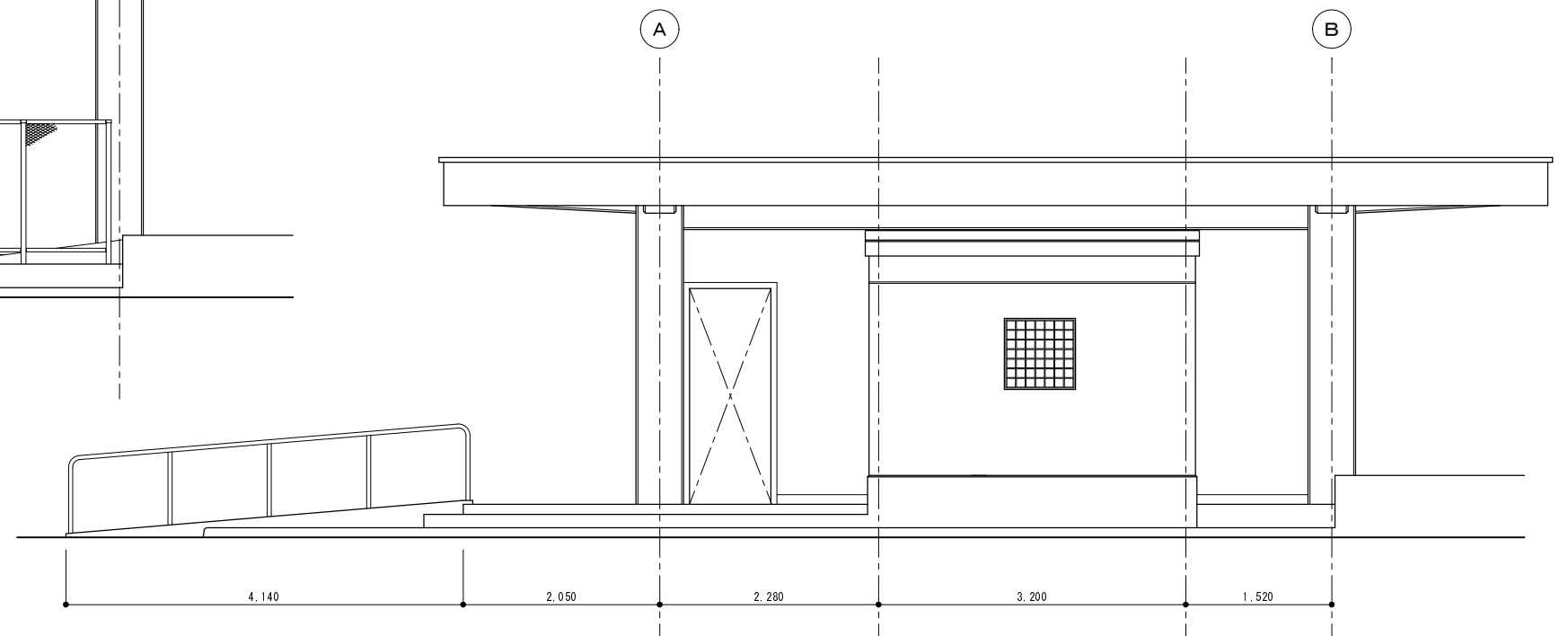
現況南面立面図



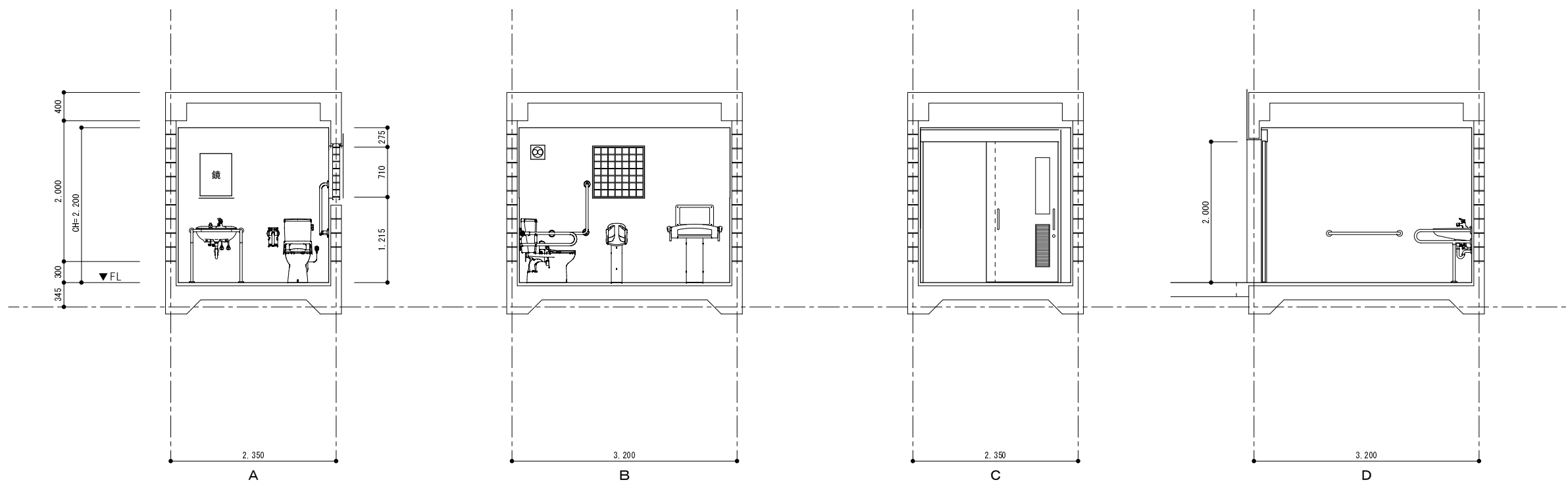
計画南面立面図



現況東面立面図



計画東面立面図

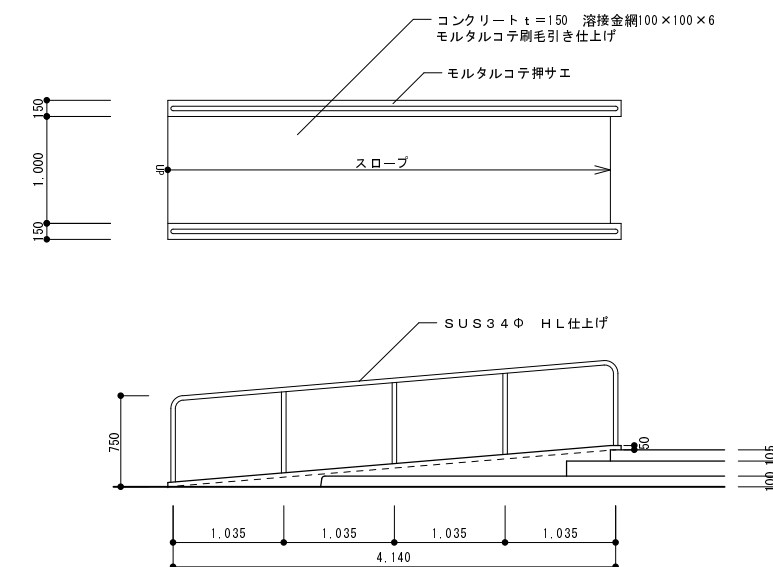


室名	多目的便所
天井	ケイカル板張 t=6 E.P.塗
廻縁	塩ビ製
壁	モルタルコテ押え E.P.塗
腰	100角磁器質タイル貼り
床	50角磁器質タイル貼り
備考	

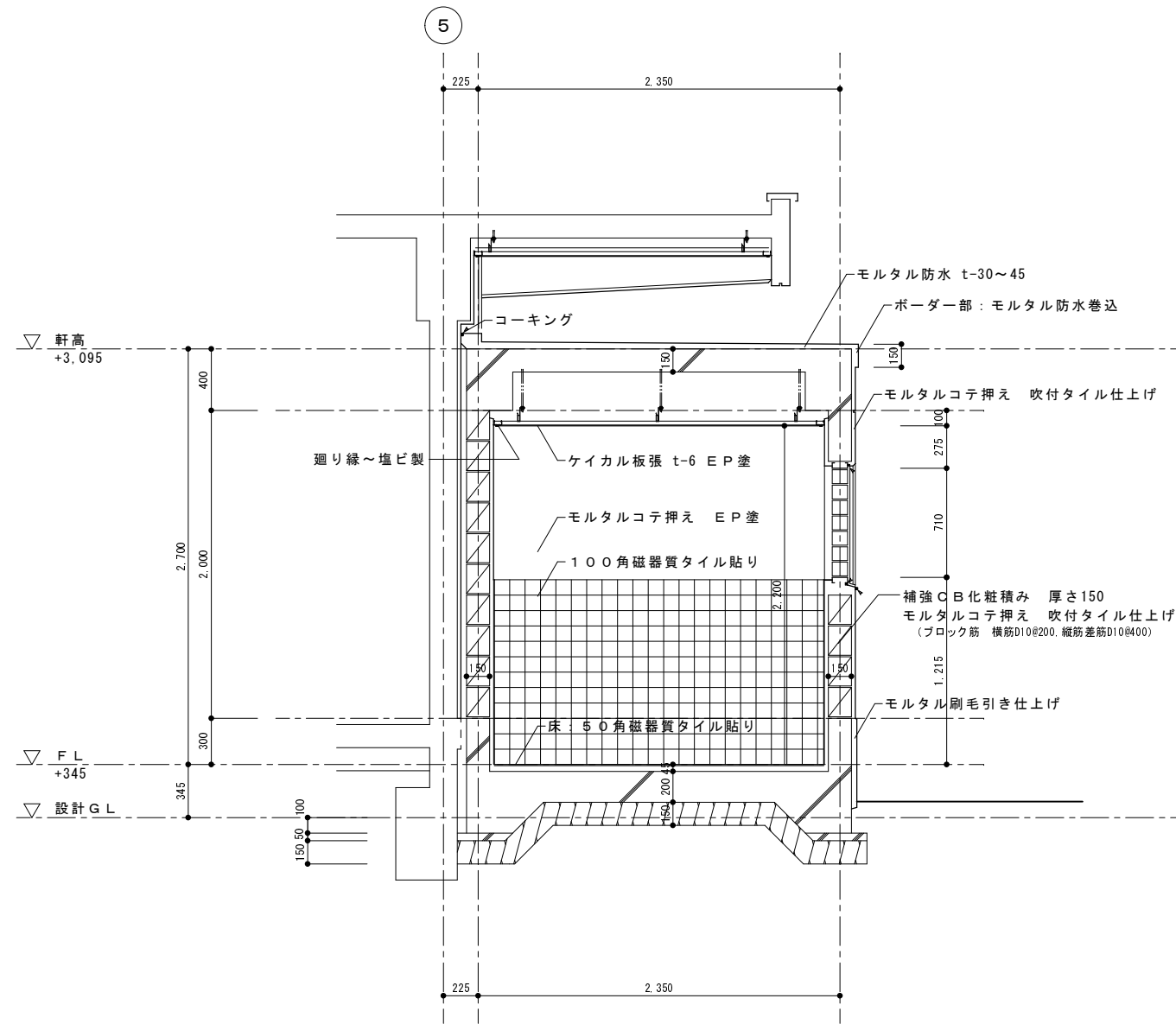
多目的便所展開図

建具表 1:50

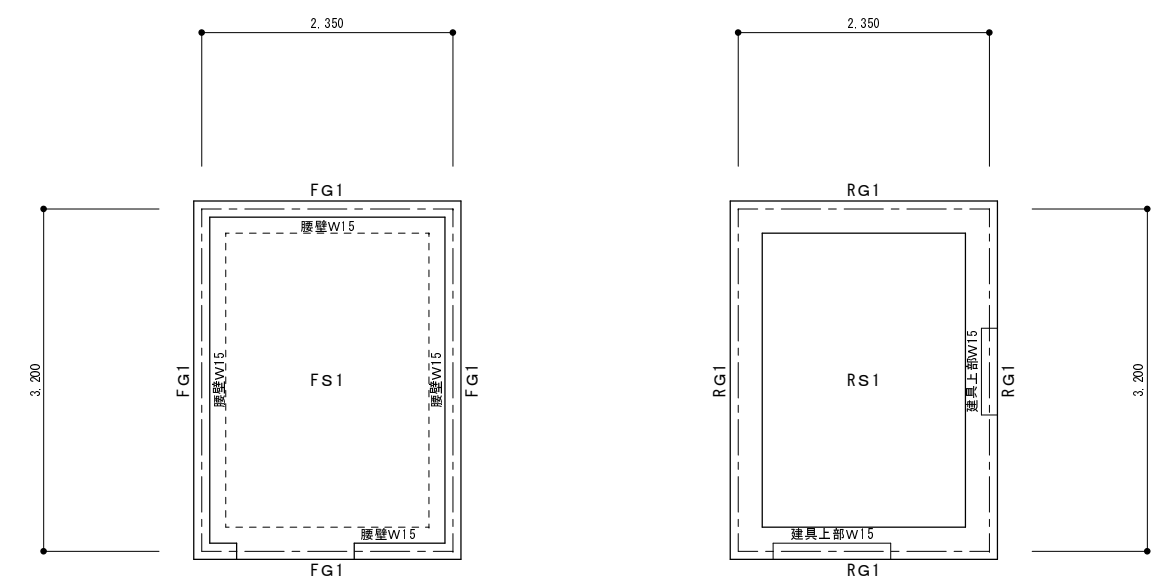
記号・数量	①SD	1ヶ所	①AW	1ヶ所
名称		片引きハンガー戸		ガラスブロック窓
仕上		塩ビ鋼板		アルミ 自然発色
建具	枠見込・ガラリ	40		100
	ガラス ()内ランマ	F ⑦4		ガラスブロック 115X115X85(クリアー)窓
金物	FH・DC・LH HC・その他	SUS取手(L=400), I型7&8寸列, 4寸0-ラ 制動装置(トップ付), 表示・大型サムターン付引き戸錠		水切: SUS304 ⑦1.5 ヘアライン仕上
防火戸の種類				
備考				
性能等級				
形状寸法				



スロープ詳細図

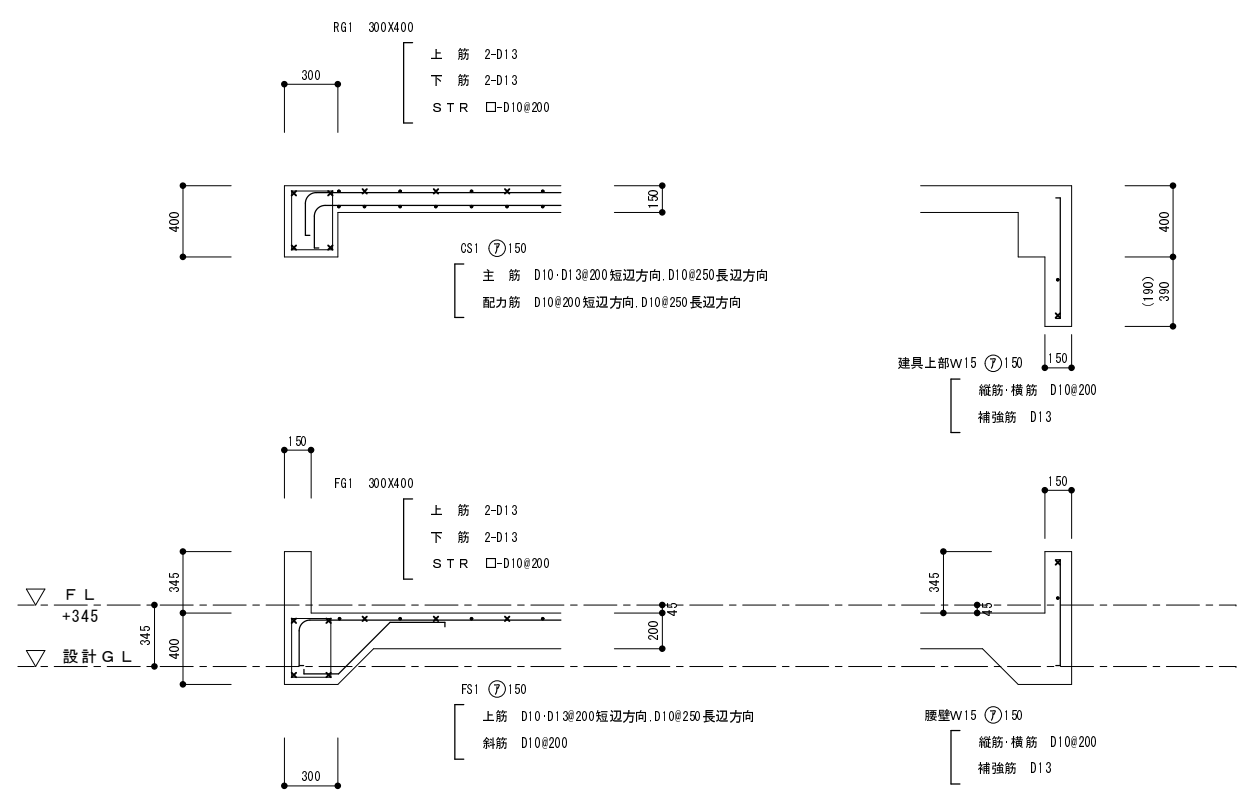


断面詳細図 1 : 30



基礎伏図 1/50

梁伏図 1/50



計画平面詳細図

機械設備工事特記仕様書 No.2

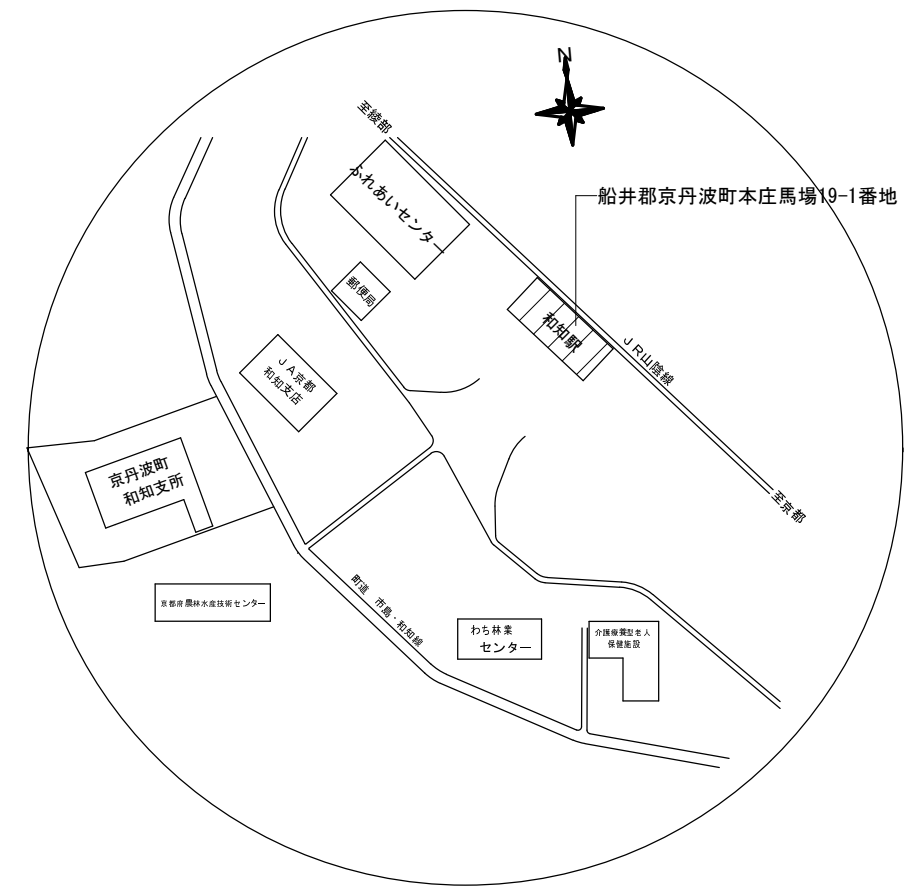
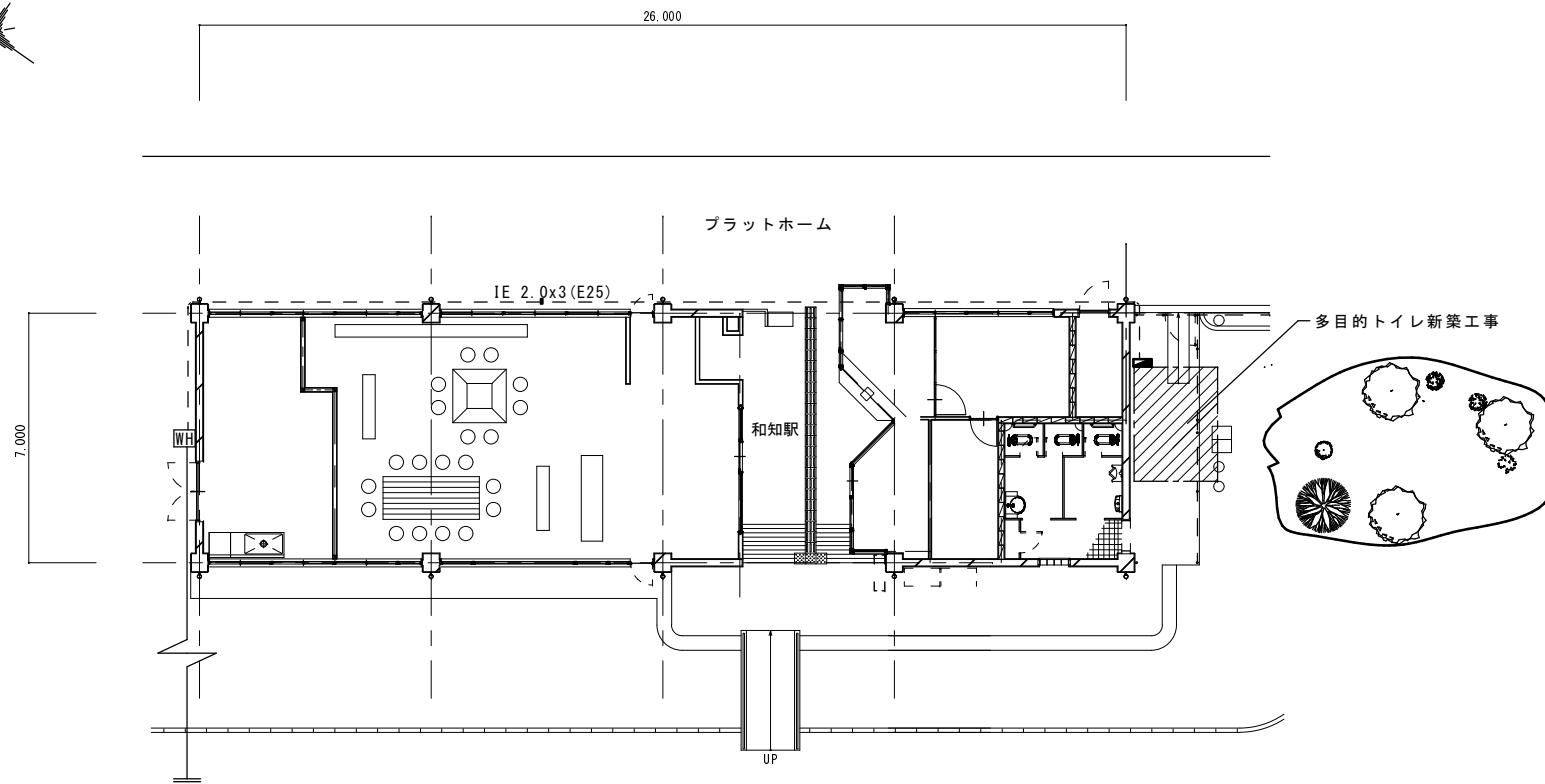
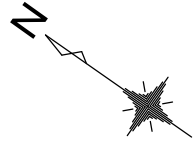
章	項目	特記事項										
換気設備	○銅板製煙道	厚さ ※3.2mm ○4.5mm										
	○ばい煙濃度計	○ばい煙濃度計の取付座 ○ばいじん量測定口 ○伸縮継手 ○掃除口 ※ファン付 ○ファンなし (電源はボイラー制御盤より取出し、配管配線共本工事に含む)										
	○瞬間流量計	○固定形 (測定用タッピング 個 本体 個) ○着脱可能形										
	○保温 (図面特記部分は除く)	1) 冷媒管の保温外装は下記による。 ・屋内 隠れ部 ※不要 ○必要 露出部 ※保温化粧ケース (塩化ビニル樹脂製) ○ ・屋外 ○ステンレス鋼板 ○保温化粧ケース (○樹脂製 ○アルミ合金製 ○ステンレス鋼板製 ○溶融亜鉛メッキ鋼板製) ・保温化粧ケースの下部カバー ○必要 ○不要 2) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 3) 加温用給水水槽の保温は膨張タンクに準ずる。 4) トラフ内の油管はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。										
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○コーナーボルト工法 (○共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) ○スパイラルダクト										
	○ダクトの分岐方法	給気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式 排気ダクト ○割込み方式 ○直付け方式										
	○厨房排気ダクトの板厚	厨房排気ダクトは亜鉛鉄板製とし、板厚は下記による。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>ダクトの長辺</th> <th>板厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>450mm以下</td> <td>0.6mm</td> </tr> <tr> <td>450mmを超え1200mm以下</td> <td>0.8mm</td> </tr> <tr> <td>1200mmを超え1800mm以下</td> <td>1.0mm</td> </tr> <tr> <td>1800mmを超えるもの</td> <td>1.2mm</td> </tr> </tbody> </table>	ダクトの長辺	板厚	450mm以下	0.6mm	450mmを超え1200mm以下	0.8mm	1200mmを超え1800mm以下	1.0mm	1800mmを超えるもの	1.2mm
	ダクトの長辺	板厚										
	450mm以下	0.6mm										
	450mmを超え1200mm以下	0.8mm										
1200mmを超え1800mm以下	1.0mm											
1800mmを超えるもの	1.2mm											
○排気フード	1) 排気フードの補強・支持金物・接合剤等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は下記による。 ※ステンレス鋼板 (補強共) ○亜鉛鉄板 2) 排気フード廻りに取付ける幕板は、上記フードと同材質とする。 ※本工事 ○別途工事 3) グリッドフィルターの予備 ※不要 ○必要											
○保温	・多湿箇所のダクトの保温 ※不要 ○必要 ・厨房外気取り入れダクトの保温 ※不要 ○必要 ・外気取り入れチャンパーの保温 ※不要 ○必要 ・全熱交換器の外気取り入れダクトの保温 ○不要 ※必要											
排煙設備	○排煙対象部分	○廊下 ○事務室 ○図示 ○最大面積 m ²										
	○ダクトの種類	○高圧1ダクト ○高圧2ダクト										
	○ダクトの工法	※アングルフランジ工法										
	○ダクトの材料	※亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製										
設置	○排煙口	1) 形状 ○スリットフェース形 ○パネル形 ○ダンパー形 2) 排煙口の開放 ○手動 (○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 3) 復帰装置 ○手元復帰式 (○手動式 ○電気式) ○遠方復帰式										
	○保温	床下及び暗渠内の保温 ※不要 ○必要 (図示)										
自動制御		※図面による。										
衛生器具設備	○小便器用節水装置	電気供給方式 ※AC電源 ○乾電池 ○水流発電電池										
	○自動水栓	電気供給方式 ※AC電源 ○乾電池 ○水流発電電池 手動スイッチ ○無し ※有り										
	○大便器用洗浄弁	操作方式 (○ハンドル式 ○レバー式) ○電気開閉式 (○センサ式 ○タッチスイッチ式)										
	○水石けん入れ	○衛生陶器取付形 ○壁取付形 ○カウンター取付形										
給水設備	○身障者用器具	1) 大便器洗浄弁は ※非接触式センサーFV ○くつばら式押ボタン 2) 洗面器の水栓は自動水栓とする。										
	○衛生器具メーカー	●TOTO同等品 ○その他										
給水設備	○給水方式	●公共水道直結 ○受水タンク及び高層タンク ○受水タンク及び加圧ポンプ ○直結プーラーポンプ										
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ●ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ○										
	地中配管 [屋内]	○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) ●ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD, SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD, SGP-FVD) ○										
	地中配管 [屋外]	○ステンレス鋼管 (SUS316) (呼び径60Su以下は拡管式、呼び径75Su以上は溶接接合) ○水道用ポリエチレン二層管 (50φ以下) (※2種 ○1種) ●ビニル管 (H1VP) ○ポリ粉末ライニング鋼管 (SGP-PD, SGP-FPD) ○塩ビライニング鋼管 (SGP-VD, SGP-FVD) ○										
○緊急遮断弁装置	○要 ○不要											
○量水器	○直読式 ○バルブ式											

章	項目	特記事項
給水設備	○水栓柱	※合成樹脂製 (70X70x1300H) ○ステンレス製 () ○人造石とぎ出し製 () ○アルミニウム合金製 () 特記なき場合、水栓取付高さ(床600とする)。
	●管の埋設深さ	1) 一般敷地 ※300mm ○ 2) 構内車庫通路 ※600mm ○ 3) 寒冷地では凍結深度以上とする。
排水設備	○加入金・負担金	○不要 ○必要 (※別途 ○本工事)
	○本管引込工事	※本工事 ○別途工事
排水設備	●排水方式	汚水・雑排水 [屋内] ※分流式 ●合流式 汚水・雑排水 [屋外] ○分流式 ※合流式 ポンプ排水 ○有り (○雑排水 ○汚水 ○浄化槽2次側) ○なし
	●放流式	汚水 ●直放流水管 ○し尿浄化槽 ○ 雑排水 ●直放流水管 ○し尿浄化槽 ○別途樹・側溝
	●配管材料 (図面特記部分は除く)	屋内雑排水管 ○排水用塩ビライニング鋼管 ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管 (VP) ○耐火二層管 ●ビニル管 (VU)
	屋内汚水排水管	○メカニカル形排水用鉄管 (※1種管 ○2種管) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○ビニル管 (VP) ○RF-VP ○耐火二層管 ●ビニル管 (VU)
	通気管	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○鋼管 (SGPW) (○ねじ接合 ○MDジョイントによる接合) ○ビニル管 (VP) ○排水用塩ビライニング鋼管 ○耐火二層管 ●ビニル管 (VU)
	地中配管 [屋内]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) ○ビニル管 (VP) ●ビニル管 (VU) ○
	地中配管 [屋外]	○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 (REP-VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) ○ビニル管 (VP) ●ビニル管 (VU) ○
	銅管類のポンプアップ排水用の配管は、塩ビライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) (地中配管はSGP-VD, SGP-FVD) とし、継手はフランジ又はハウジング形継手とする。	
	○漏水試験継手	※必要 (図示箇所に取付ける) ○不要
	○煙試験 (排水・通気)	※不要 ○必要
○負担金	※不要 ○必要 (○別途 ○本工事)	
○本管接続工事	※本工事 ○別途工事	
給湯設備	○給湯方式	○中央式 ○局部式
	○配管材料	※鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○ステンレス鋼管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○保温付き被覆鋼管
消火設備	○保温	ガス湯沸器の排気筒の隠蔽箇所の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の表2.3.6及び表2.3.7の [h, (イ), X] による。
	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○不活性ガス消火 () ○連結送水管 ○
	○表示灯	○屋内消火栓箱には、消火ポンプ運転表示灯取付用口を設ける。
	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○圧力配管用炭素鋼管 (白) ○
ガス設備	○ガス配管	※外面被覆鋼管 (SGP-VS)
	○保温	消火用充水タンクの保温を ※施工する (膨張タンクによる) ○施工しない 消火用呼吸タンクの保温を ※施工しない ○施工する (膨張タンクによる) 屋外露出管の保温を ※施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) 屋内露出管の保温を ※施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる) トレンチ内の保温を ※施工しない ○施工する (給水管の保温仕様に準ずる)
	○ガスの種類	○都市ガス (発熱量 ※46,000kJ/N m ³ ○ KJ/N m ³) ○液化石油ガス (※50kg 本立 ○20kg 本立)
	○ガスメーター	親メーター ※貸与品 ○購入 子メーター ※購入 ○貸与品 計量方式 (○直読式 ※バルブ式)
ガス設備	○配管材料 (図面特記部分は除く)	一般配管 ※配管用炭素鋼管 (白) ○ 屋内外地中配管 ○ポリエチレン被覆鋼管 ○ガス用ポリエチレン管 ○ 都市ガスの場合は、供給者仕様による。
	○地中埋設管の接合法	○SGM工法 ○ネジ工法 ○PE管工法
	○ピット内施工法	※溶接工法
	○負担金	※不要 ○必要 (○別途 ○本工事)
○本管接続工事	※本工事 ○別途工事	
設く井	○掘削工法 ○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式 ○孔口保護管 深度 () m ○ケーシング材質 ※配管用炭素鋼管 (黒管) ○配管用ステンレス鋼管	

章	項目	特記事項
井設備	○掘削工法	○パーカッション式 ○ロータリー式 ○ダウンザホールハンマー式 ○回転振動式 ○ロータリーパーカッション式
	○設置機器	安全装置の適用は図面による。
浄化槽設備	○形式	○ユニット形 ○現場施工形
	○処理方法	○小規模合併処理 (別紙参照) ○合併処理 (別紙参照)
設置力		※図面による。

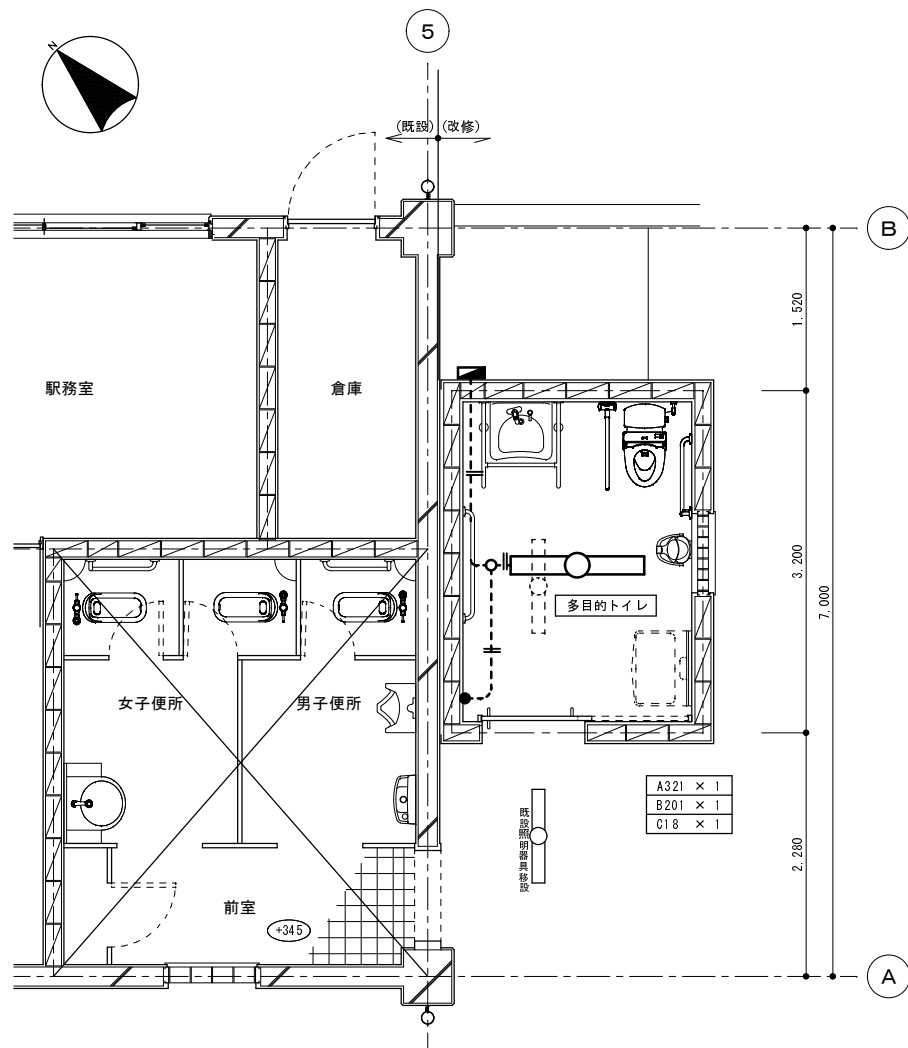
別表 1 付属品・予備品

○工具箱 (ドライバー、モンキーレンチ、組スパー、ハンマー)	○マンホールフック	○パイプレンチ	○ポンプブライヤー	○ボンテン (大、小)
○イージーキャビネット	箱	○キーボックス		
○ウォールキャビネット (W=) D=) H=)	×	個		
○盤類予備品 (ランプ及びヒューズの100%)				

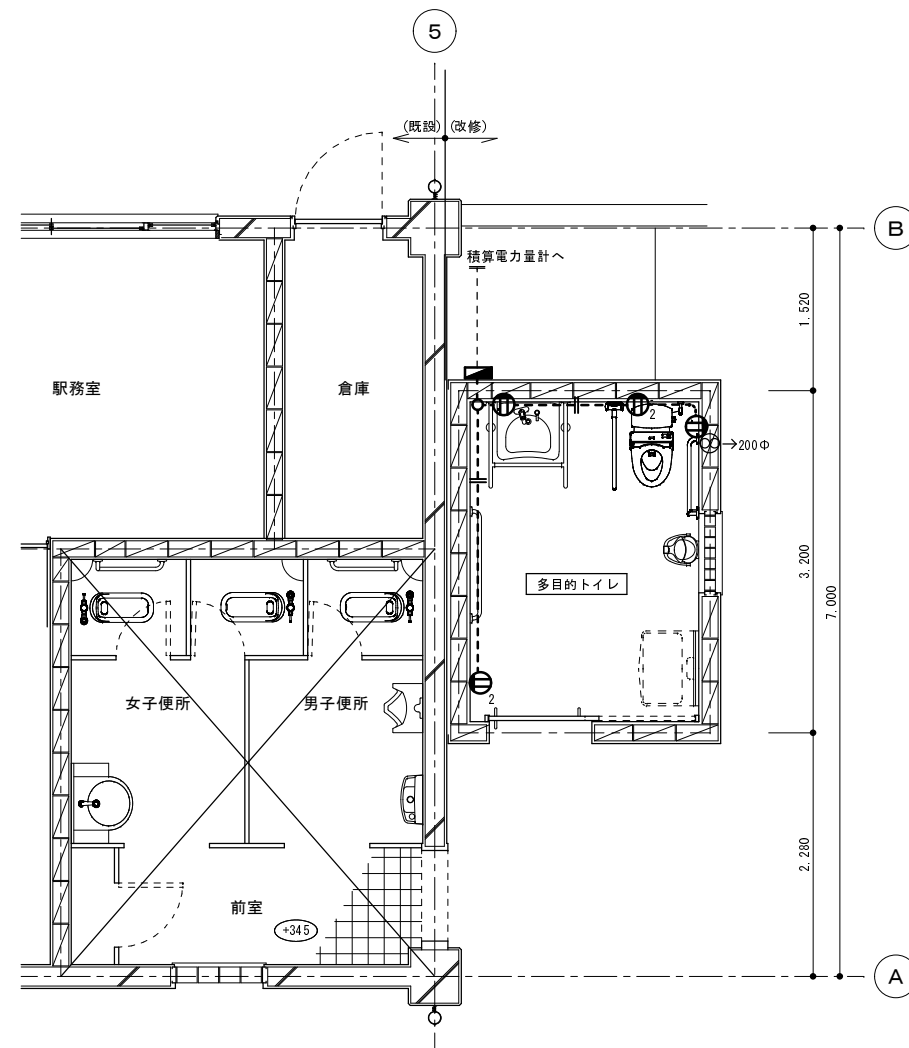


附近見取図

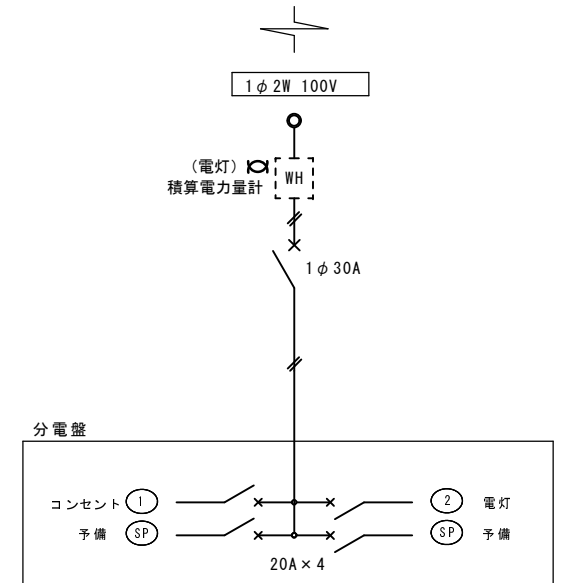
配置図 1/300



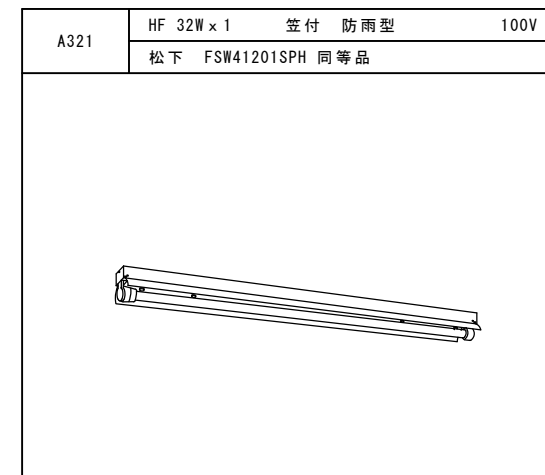
電灯設備図



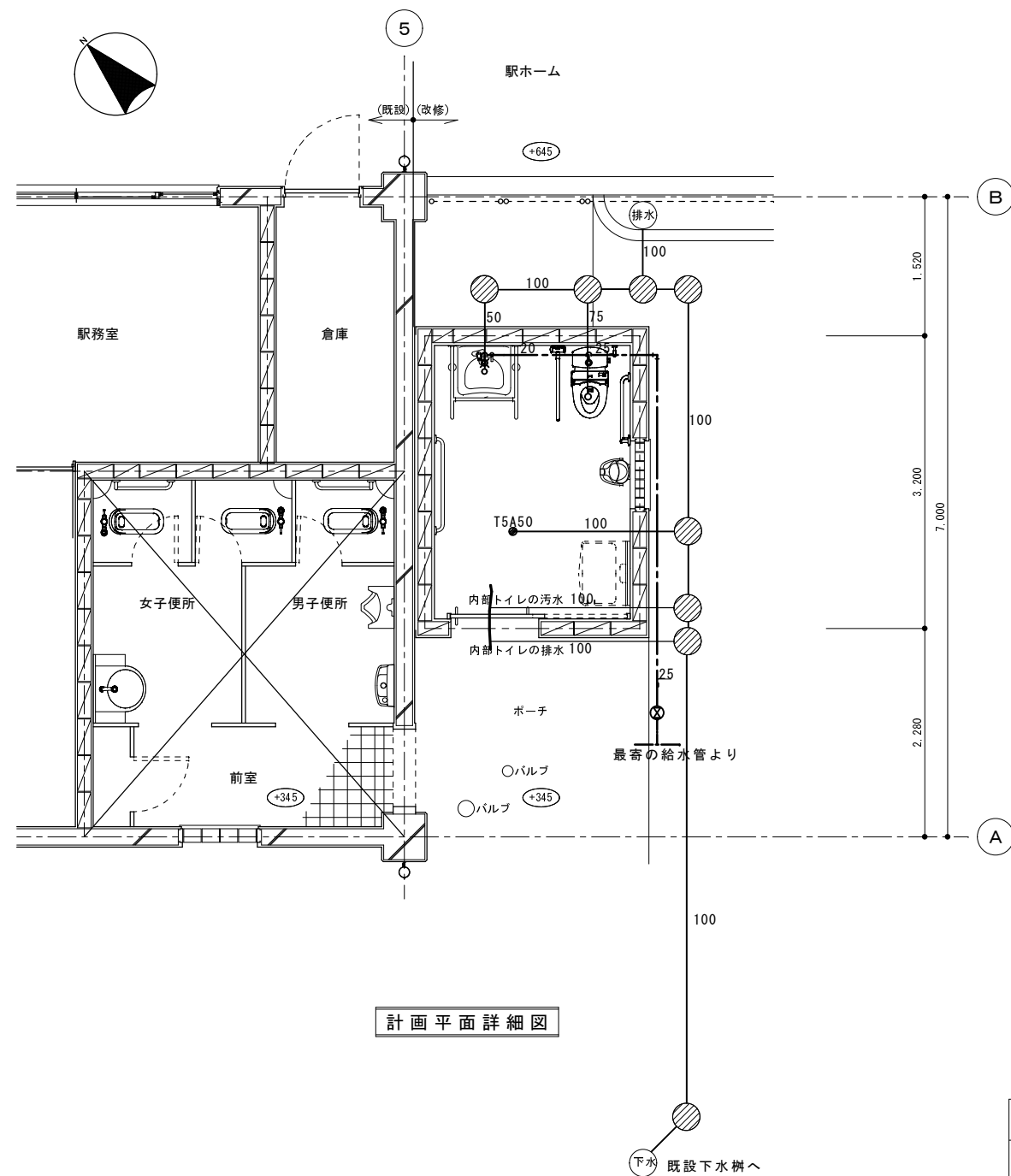
コンセント設備図



照明器具姿図



注記 1 記載なき機器凡例は下記による。	注記 2 記載なき配管配線は下記による。
分電盤 (20A x 4)	電灯設備
照明器具 笠付 姿図参考	IE 2.0x2 (E16)
既設照明器具移設	
埋込コンセント 2P15A x 2 P付	
埋込スイッチ 1P15A x 1 P付 露出ホック取付	一次側電気配線・配管
フットレットホック	IE 2.0x3 (E25)
換気扇 200φ 丸型アルミフード付	
積算電力量計	



排水リスト			
	汚水枘	150φ	レジコン蓋共 深さは現場確認
	硬質塩化ビニル管 (VU)		
	硬質塩化ビニル管 (VP)		
	排水目皿	T5A50	

衛生器具表

器具名	品番	附属品	台数
身障者用大便器	CS20AB	SH30BA. TCF4721V81. TCA88. HE10. HM10. YH702. T112HK7. T112CL9	1
身障者用手洗器	L103A	TEN50A. T7PW9. TL220D. HH04060. T112CP3×2. YM3560AE	1
ベビーシート	YKA25		1
ベビーチェア	YKA15		1
多用途用手摺	T112C6		1